

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2007-34805(P2007-34805A)  
 【公開日】平成19年2月8日(2007.2.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-005  
 【出願番号】特願2005-218869(P2005-218869)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月25日(2008.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、

前記業務スケルトン情報に対し業務処理における項目に対応した新たな業務処理の内容を挿入するための挿入情報を作成する挿入情報作成手段と、

前記ユーザ定義と前記挿入情報とを関連付けて業務処理定義部品を生成する業務処理定義部品生成手段と、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、  
 を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記挿入情報作成手段は、前記挿入情報を前記項目テンプレート情報に追加することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記項目テンプレート情報には、入力や表示に関する項目テンプレート情報、印刷に関する項目テンプレート情報、データの更新・登録・抽出などのデータ処理に関する項目テンプレート情報、項目に追加される補助的な処理に関する項目テンプレート情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記業務スケルトン情報には、前記業務処理実行手段のイベント毎の処理に関するイベント処理定義を含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記業務スケルトン情報で定義される業務処理の内容は、機能ごとに分類され、業務処理における業務情報の入力、更新、印刷、照会のいずれかである

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置のコンピュータを、

前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段、

前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段、

前記業務スケルトン情報に対し業務処理における項目に対応した新たな業務処理の内容を挿入するための挿入情報を作成する挿入情報作成手段、

前記ユーザ定義と前記挿入情報とを関連付けて業務処理定義部品を生成する業務処理定義部品生成手段、

前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段、  
として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、業務の処理内容を定義した業務処理定義部品に従って業務処理を行う情報処理装置において、前記業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを記憶する記憶手段と、前記業務スケルトン情報と前記項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成するユーザ定義作成手段と、前記業務スケルトン情報に対し業務処理における項目に対応した新たな業務処理の内容を挿入するための挿入情報を作成する挿入情報作成手段と、前記ユーザ定義と前記挿入情報とを関連付けて業務処理定義部品を生成する業務処理定義部品生成手段と、前記業務処理定義部品に従って業務処理を実行する業務処理実行手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記挿入情報作成手段は、前記挿入情報を前記項目テンプレート情報に追加することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記項目テンプレート情報には、入力や表示に関する項目テンプレート情報、印刷に関する項目テンプレート情報、データの更新・登録・抽出などのデータ処理に関する項目テンプレート情報、項目に追加される補助的な処理に関する項目テンプレート情報を含むことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項4に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記業務スケルトン情報には、前記業務処理実行手段のイベント毎の処理に関するイベント処理定義を含むことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項5に記載の発明は、請求項1に記載の発明において、前記業務スケルトン情報で定義される業務処理の内容は、機能ごとに分類され、業務処理における業務情報の入力、更新、印刷、照会のいずれかであることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明によれば、業務処理定義部品を作成するための雛形であり、業務処理の内容の骨組みを定義する業務スケルトン情報と、業務処理における項目毎の処理内容を定義する項目テンプレート情報とを元に、ユーザの要求に合った業務処理の定義であるユーザ定義を作成し、ユーザ定義と業務処理における項目に対応した新たな業務処理の内容を挿入するための挿入情報とを関連付けて業務処理を行うための業務処理定義部品を生成する構成であるため、編集作業を行う時に項目に関する情報を一括して扱うことができ、ユーザの要求に合った業務処理における項目に対応した新たな業務処理の内容を挿入できるので、きめ細やかな業務処理を行うための業務処理定義部品を容易に作成することができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

表示装置13は、LCD(Liquid Crystal Display)やCRT(Cathode Ray Tube)などのディスプレイであり、画面上に制御装置11からの画像信号に応じた画像、つまり、業務処理時における業務画面を表示する。通信装置15は、無線通信回路及びアンテナや、有線で通信を行うための通信インターフェースを備えた回路部であり、特に図示しない無線/有線LAN、インターネットなどの通信ネットワークと接続し、当該通信ネットワークと接続する他の情報機器との間で制御装置11の指示に応じたデータの送受信を行う。印刷装置16は、電子写真方式やインクジェット方式などにより紙などの記録媒体に制御装置11からの指示に応じた画像を形成するプリンタである。